

## 平成29年度 第1回 地域年金事業運営調整会議 議事要旨

開催日時：平成29年6月22日（木） 13：30～15：30

開催場所：ニューウェルシティ宮崎 1階アンジェラス

出席者：委員 8名（内代理出席1名）

日本年金機構 8名

### 議事

1. 開会
2. あいさつ 宮崎年金事務所所長
3. 委員紹介
4. 議題

議題1 「地域年金展開事業の平成28年度実施結果について」

資料2 宮崎県地域年金事業運営調整会議

事務局より、資料2により年間の県全体での取組結果を説明。

議題2 「地域年金展開事業の平成29年度事業計画について」

事務局より、平成29年度ガイドラインに基づく取り組みの基本方針と県内における重点取組について説明。

議題3 「年金受給期間短縮について」

宮崎年金事務所お客様相談室室長による制度説明及び予約相談の拡充に向けた対応のお願い。

地域年金推進委員の活動状況を踏まえ教育機関に対する要望等。

議題4 その他

厚生労働省よりプレスリリースされた事業の内容について厚生局大西委員より説明

当調整会議において、事業展開していく中で各委員よりいろいろな意見・要望をいただいた。現状を踏まえ何が不足し何ができるのかしっかりと整理し、更に今後の取組に活かしていくこととした。

## 主な意見・要望・質問

(佐保議長)

幸福の実現には支えあっていく共生の社会が必要であり、世代を超えた世代間の支えあいにおいて中心的な役割を果たす制度が年金であり一番の命綱かなと思う。

預金は長く生きれば生きるほどストックが減る。

年金に関心を持つ時代がきており、発達段階に応じた年金の重要性を伝えていくことが大事である。

本日は、事業の推進において皆様方の忌憚のないご意見をよろしく願います。

### 議題1 「地域年金展開事業の平成28年度実施結果について」

(長野所長)

資料2 平成28年度の取組結果により説明

(桑畑委員)

資料10ページの年金セミナー実施状況の中で記載の数字は、実施回数か？学校数か？確認したい。

(事務局)

実施回数です。

(浜田委員)

実際に年金業務に携わっている私たちでさえ、年々制度改正がありついていけない状況がある。

制度の中身を年金委員の方々が覚えるのは大変なことだと思ひ年金事務所もご苦労されていることと思ひ。

(事務局)

年金委員の活動を支援するために年金委員研修の充実を図ってまいります。

(岩田地域年金推進員)

当職を拝命してから3年過ぎた。2年前から勤務形態が変わったこともあり手伝いができるようになりました。

積極的に学校、校長会を回りご理解をいただきながら、学校単位、学年単位、学級単位で年金セミナーを実施できるようになりました。中学校ではまだ1校

もできていないことと専門系の高校ではある程度ご理解いただき実施していますが普通科の高校ではなかなか実施していただけない状況があります。

18歳から選挙権が与えられ、主権者教育をしなければいけなくなり、日本を背負っていく若者が主権者であり社会の仕組みをきちんと学んでいく中で年金セミナーは、当教育を補うことができると思っています。主権者教育、キャリア教育と併せた意味で是非とも年金セミナーを導入していただきたいと思えます。アンケート結果を見ても年金のイメージは2倍以上になっており、若い世代に理解していただいていると思えます。

平成29年度も粘り強くすべての学校を訪問し、直接お会いしてセミナーの実施をお願いしてまいります。

(橋口委員)

事業結果について意見です。

年金セミナーでいろいろと議論いただいておりますが、社労士会でも出前講座という形で被ってやらしていただくこともあり一定のことはやらせていただきましたが、まだまだだと思っております。まだまだだと思ふ傍ら14Pの地域型年金委員の委嘱拡大状況の資料で社労士会の状況がつかめていなくて非常に認識不足で申し訳なく思っている。九州各県の状況がわからなかったこともあります。宮崎が0に対しての具体的な取組みがあったとの記憶がない。改善策があるような気がするので、お互い連携しながら改善させてもらえればと思っている。

(佐保議長)

大事なご指摘がありました。資料を見ても当県だけが信じられないような状況にあります。背景として伝わらなかったところによるものなのか事務上のミスマッチなのか定かではありませんが、ご意見としてあったように要請があれば前向きに当然協力しますということです。平成29年度は連携のもとどうぞよろしく願いますということで、平成28年度の取組み結果につきましては、了解でよろしいですか。

## 議題 2 「地域年金展開事業の平成 29 年度事業計画について」

(長野所長)

資料 2 平成 29 年度の重点取組みについて説明

(佐保議長)

2月の会議の中で案として示されていましたが、ガイドラインに沿った計画が示されているということです。事務所がそれぞれ取り組む事柄も事業別に示されていますので計画としては変えられませんが運用面で意見等ございましたら言っていただきたいと思います。

(大西委員)

年金委員が具体的に3年どういう仕事をやっていたのかよく見えてこなかった。仕事のには広いアプローチがあるがチラシ配布のお願いとか重点的な部分が見えれば年金委員自身の動き方が明確になるのではないか。また、支援という形で情報を提供することも重要であるが、年金委員手引きのなかにあるように年金委員活動報告書は取組み易い部分の分析にもつながり、重点的な取組みの依頼等につながっていければいいと思う。

(櫻木委員)

数年前、地域型の年金委員研修会が東京であり参加した。全国の年金委員からのデスカッションがあった。よその県頑張ってるな、宮崎ではやっていない取組みをきいて来たが、当県での委員の活動が不明であり全国での取組が反映されていないのではないかと思うところがある。前記年金委員を対象とした研修をまだやっているかどうか確認したい。やっているとしたら全国での活動状況は大変参考になる。是非とも研修会の充実をお願いしたい。

(佐保議長)

年金委員の活動については、他の事業と併せて行うという方法もあるかも知れませんが。ショッピングモールとか若者が集まる場所で全国の活動を参考にしてみてもいいと思います。

(黒島委員)

年金セミナーについては、件数も若干は増えているものの都道府県でも温度差があり地方レベルで協力を求めても限界がある。機構本部並びに厚労省が文科

省や上部に直接協議する場があれば設けた方がいいと思う。

(佐保議長)

年金一元化が施行されたことにより厚生年金の未加入事業所の改善が大きな課題になるのではないかと  
年金事務所での取組みは言うまでもないが社労士会での働きかけについて何かありますか

(橋口委員)

関心が高い分野ではありますが機構と直接連携して適用拡大をやるという状態ではない。  
現状は、委託事業所を選定してそこ依頼をして行う事業となっている。  
個々の社労士が営業的な面を含め未加入事業所に対し説明を行い委託先を増やしていく中で未加入事業所の適用拡大に取り組んでいる状況です。  
受託率も 3 割を超えており事業所を訪問しながら未加入があれば加入促進を引き続き進めていきたいと考えている。

(大西委員)

設立認可をする中で、国保の手続きにおいて働いているにも関わらず国保への加入を認めざるを得ないかどうかの行政行為も今始まっているところです。

(橋口委員)

直近の話になりますが、市内の大手工務店が下請けを集めて(100~150人規模)社会保険加入の説明を受けたいということで私たちのもとへ講師依頼が来ています。

(佐保議長)

さまざまところで、さまざまな形で加入を促進することは大事ですので連携を図りながら行っていくということで年金事務所にもお願いしたいと思います。  
事業計画については、2月の会議でも図ってきたところもありますので、平成29年度事業計画について承認をしていただいたということにします。

### 議題3 「年金相談における予約相談の拡充について」

(待木お客様相談室長)

資料に基づき受給資格期間短縮等における宮崎県の現状を踏まえ相談に伴う予約の拡充について説明

(長野所長)

年金事務所における年金相談については、お客様の来訪時に相談内容を聴取し、必要な記録の確認や年金見込み額を試算し対応していることから、お客様からの年金相談をより丁寧に効率的に対応していくため、現行の年金相談における予約相談を拡充し、お客様に利用しやすい相談環境を整備することが喫緊の課題とされています。

また、年金受給に必要な保険料納付期間を25年から10年に短縮する改正年金機能強化法が今年の8月に施行されることになりました。

この法律の施行に伴い、宮崎県でもこれまで年金を受け取ることができなかった7,909名の方も年金が受給できる可能性があります。

年金の予約相談には、混雑時での解消はもとより資料にも掲載してありますとおりの効果をもたらします。

このような中、これまで各拠点において予約率の向上に向けた取り組みを行ってきていますが、事前予約については、まだまだ定着していないのが実情です。つきましては、年金相談に対するお客様のなお一層の予約相談の定着を図るため、本日は皆様のご意見や助言等いただきたいと思っています。

(藁部委員)

ターンアラウンドで送られてその中に予約での相談をご案内されていると思うが宮崎で1月から2月にかけて予約率が急激に上がったことが皆さんが共有する部分かと思うので特別なことをされたのかをお伺いしたい。

(事務局)

予約率が急激に上がったことのことですがその前を見てもらうと恥ずかしい限りですが九州内でも最下位を争っていた状況があります。短縮が始まる前は、お客様を30分待たせることがなかったことから通常でも予約したいと申し出たお客様に限って予約を受けましょうといった考えがあったのだらうと思います。全国でもそうですが九州内でも平均くらいの予約を取らないと短縮が始まった時に対応できないとの指導を受け、お客様相談室とも相談をし、電話予約、2回目以降に来所される場合は、確実に予約を取り、お客様のニーズに合った取組

みを行った結果ではありますが、40～45%の予約率になると予約なしで来られたお客様を待たせてしまう状況があります。

となれば予約をもっと増やしていく取組とそれに伴う相談ブースの確保をしていかなければならないと思っている。

#### 議題4 その他

(大西委員)

国民年金事業に対する功績が特に顕著であった市町村に対し厚生労働大臣表彰を受けた自治体をプレスリリースしました。九州管内では鹿児島県の枕崎市の取組が顕著と認められ受賞されましたが、モチベーションが高まる取組は実際公共性を動かす側としてはうれしいことかなと思います。

次に昨年11月にプレスリリースされた九州管内で学生納付特例制度の協力をしていただいている学校の中で特に取組が顕著であった法人に対して九州厚生局長からの感謝状が贈られたところですが、取組の中身を見てみますときめ細やかな対応をしています。平成28年度における代行事務取扱件数を見ても宮崎県では実績が26件ですが、学生の年金権確保のために行っていることを考えればもう少し何とかならないのかなあとと思います。

(事務局)

本日、受給資格期間の短縮に関して7月の土曜日を開所日とするプレスリリースを行いました。

予約相談について、再度の協力をお願いします。

市町村との連携強化について、当該会議での委員枠の拡大、市町村からの意見・要望を反映させる会議の構築が求められています。

管内の事務所では、現在各市町村と連携強化について協議中であり、場合によっては、市町村から出た意見・要望について委員の皆様にご合議してまいりますので今後ともご協力のほどよろしくをお願いします。

#### 5. 閉会

(佐保議長)

すべての議事が終了しました。

最後まで熱心に協議に参加していただきましてありがとうございました。